

播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第5回）議事録

開催日時	令和6年2月20日（火） 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	播磨町役場 第2庁舎3階会議室1
出席委員	（11名）
事務局	（6名）
協議事項	（1）パブリックコメントの結果報告 （2）第3次はりま健康プラン最終案について （3）その他
会議資料	委員会次第 パブリックコメント実施結果報告 第3次はりま健康プラン計画素案、差し替え分 「第3次はりま健康プラン」今後の流れ

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 2. 議題
会長	議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をよろしくお願いたします。 会議次第に沿って、議事を進めてまいります。 まず議題（1）「パブリックコメントの結果報告」について、事務局からお願いします。
事務局	—資料を基に説明—
会長	パブリックコメントはなかったということでしたが、皆さんご質問等ございませんか。 次に議題（2）「第3次はりま健康プラン最終案」について、事務局からご説明をお願いします。
事務局	—資料を基に説明—
会長	議題（2）について説明がありましたが、皆さんご質問等ございませんか。 自殺について追記とのことですが、これに関してはどうなっていますか。
事務局	自殺対策計画は第6章に入りますが、別の策定委員会、協議会で承認を得ています。
委員	私は自殺対策の会議にも出ています。この会議とセットになって報告という形になると理解しています。
会長	わかりました。 本日計画が承認された後の流れはどうなりますか。
事務局	今後の流れについて、本日承認を得たら事務局で文言チェックをした後、3月末に計画書冊子が完成、また、現在計画の概要版リーフレットを構成しているところですので、こちらも3月末に完成、4月に配布予定です。委員の皆様には計画書を4月に郵送させていただきます。概要版については播磨町での各種会議で配布したり、巡回検診や健康イベント等で住民の方に配布したいと考えていま

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>す。お送りした今後の流れには書いていませんが、今回アンケートに協力してもらった小学5年生、中学2年生にも学校を通して配布したいと考えています。広く住民の方々にこの計画を周知していきたいと思っています。また、6月頃の広報はりまに本計画についての掲載を予定しています。そして、計画書にも記載していますが、年に1回開催している播磨町保健対策推進協議会にて本計画の進捗管理を図り、計画が計画のままで終わらないように、実効性をもって取り組んでいきたいと思っています。この策定員会の委員の中にもおそらく保健対策推進協議会の委員になる方もいるかと思うので、その際はご意見をいただいて、計画を進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。流れを先に説明いただきましたが、内容の方でも何かご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>今回いろいろ勉強させていただきました。私は今年後期高齢者になるので、一番関心があるのは健康寿命です。今回P12～15にデータがあり、目標設定していただいています。これをどう伸ばしていくのかが大事だと思います。この内容では県下での状況が見やすいと思いますが、P13では健康寿命は県より男性は0.27歳短く、女性は0.7歳短く、県の平均よりも短いという評価です。ところがP14要介護認定者数及び要介護度構成比をみると、全国に比べて兵庫県は要介護度が重い人が少ない、さらに播磨町はもっと少ない。これは素晴らしいと思いますが、このデータと前のページが一致しない。その辺はどのようにみておられるかお聞きしたいと思います。播磨町は頑張っていると思うが、数字だけみると県より悪く見えます。</p>
事務局	<p>数値で出すと健康寿命は県より短くなってしましますが、不健康期間でいうと播磨町は短いです。介護認定で言うと軽度の方が多く、兵庫県では健康寿命は要介護2よりも重い方ということで取っていますので、そうすると播磨町はP14の表を見ると、同じ位か播磨町の方がちょっと軽い人が多いという形になるが、表にするところという表現になってしまいます。</p>
委員	<p>前回チャレンジ目標だった県下一が消されてしまいちょっと残念に思いますが、評価の指標をどう設定するかはかなり難しい。できないことを書いても仕方がないので、どこに重点を置いてチャレン</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>ジするか、それがどう結果に表れているのかだと思うので、これから活動の中でそれを実現していただきたいと思いますが、このままの評価だと、頑張っていたことが数値に表れてほしいがうまく表現できるかなと心配しています。</p> <p>要介護の認定率も文章の中には国よりも軽度の割合が高いと記載していますが、健康寿命のインパクトが強いからだとは思いますが、表現がなかなか難しいです。</p>
委員	<p>実際に業務に携わっている方の頑張りが見えるようにしてほしいなと思います。</p>
会長	<p>統計の取り方、データの取り方ではないかと思う。イメージとしては要介護の軽度の方が多いことは嬉しいと思う。併せて健康寿命も伸びた方が良いと思うので、そのあたり統計的なものだとは思いますが、これはこれで置いておかないといけないのかなと思います。</p> <p>他のところ、歯科の部分はどうですか。</p>
委員	<p>修正でわかりやすくなったと思います。</p>
会長	<p>標準化死亡比は一般の人にはわかりにくいと思います。</p>
事務局	<p>わかりにくいということで、本來說明は後ろの用語集に掲載していますが、なかなかたどりつかないかもしれないと思い、P18の標準化死亡比の下にも少し説明を入れた方が良くかと思っています。</p>
会長	<p>これを示している意味があると良いと思います。問題について記載されているが、わかりにくいので、わかりやすく書いてあると良いと思います。</p>
委員	<p>100を超えるか超えないかで見ると思うので、100を大きく超えればこの地域の死亡原因がわかる、この対策をしなければいけないと分かると思うので、この書き方でいいと思います。</p>
会長	<p>県のご意見はどうでしょうか。</p>
委員	<p>健康寿命や介護の状態が出ていますが、健康に皆さん留意してい</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>ただために、予防できることは予防して健康寿命が延びていくと思うので、健診を受けたり、自分自身の健康について考えていただくことが大事だと思います。計画はこれでいいと思います。それを実行してもらうために、書いてあることを具体的に、町民の方の健康状態について、レセプトなどをみると、医療費はがんや糖尿病になるとすごく高くなる、高齢になると腰が痛いとかいろいろあって歩きにくくなることにつながりやすいので、健康管理をしていただくというところで行くと、ポイントになるのがこのレセプトの内容です。皆さんの健康状態がこういうところで現れるというお知らせとか、周知のところを今後重点的にしていく。検診で早期発見することができるものがこれですとか、具体的に結びついていると内容が分かるのかなと思います。数字だけ見てもなかなかわからないので、皆さんが自分の健康状態を確認するときに、町民全体の状況をお知らせする内容として、こんなデータがあると分かる、自分のこととして捉えていただけるのではないかと思いますので、次は活動の内容かなと思います。</p>
会長	<p>データだけでなく、それに対してどういうことを具体的にどうしたらいいかということですよ。</p>
事務局	<p>住民の方にいかにわかりやすく伝えるか、多分この計画や概要版だけだとわかりにくいところ、難しいところもあると思います。今回広報に特集を載せるのと、2か月に1回出している保健師だよりも、今回は歯、今回はこころの健康のように、この計画をかみ砕いた形でお伝えできたらいいかなと思っています。住民にわかりやすく伝えることが今後大事だと思うので、保健師のコラムで住民の方に難しい文章じゃなく、語るような形で発信できたらいいかなと思っています。</p>
委員	<p>広報がこれから大事だと思います。食育でも心配されていましたが、住民にどうやって食育ということが伝わるのか、私もこの委員にならなかつたら分からなかつたことがかなりあります。委員になったために、食事と健康とどんな関係があるか、本を読みました。私自身とてもためになったと思います。そういうことが住民皆に行き渡ればいいが、なかなか難しい。私も本を読んで有料の検便をしました。すると腸内細菌の状態の連絡がきて、朝食を改善しないとイケませんというレポートがきて、朝食を改善しました。朝食を今は倍くらい食べています。それが実際健康増進するかはわからない</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>が、そう思うからやっている。それを住民皆にどうやって広報するのか難しいと思います。</p> <p>特定健診、がん検診の案内を出すときに、播磨町の問題がわかるようにして、そこを重点的に受けましょうというような案内をすると、実際この地域で何が問題なのかがみんながわかる。自分も…となるかもしれないので良いと思いました。</p>
事務局	<p>今保健センターで健診を申し込まれた方に、問診票を郵送する際に播磨町の特徴としてがんの死亡率などを載せています。受診勧奨する際もキャッチコピーなど、「ナッジの理論」を活かして皆さんが受診しやすいような工夫をされていて効果がありそうなので、意識して続けていきたいと思っています。</p>
会長	<p>実行することが大事と皆さんから意見をいただいているところで。他よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたらこの計画を承認するということがよろしいでしょうか。</p> <p>議題（3）「その他」について、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>—資料を基に説明—</p>
会長	<p>意見等ございませんか。ご意見がなければ議事については以上となります。皆さんの円滑なご協力御礼申し上げます。</p>
事務局	<p>本日で本策定委員会が最後となりますので、策定委員の皆様と長い期間作り上げてきた計画ですので、感想など一言ずついただけたらと思います。</p>
委員	<p>策定委員会に初めて参加させていただき、どういう流れかわからないままだったので、国から下りてきた計画に従って、それを播磨町に合わせて皆様からたくさん意見があり、良い方向に向かって行けたのがよかったのではないかと思います。</p> <p>広報周知をする時について、行政からいろんなことをお願いするときに、健康診断、特定健診とか、受診率を上げるために頑張っておられるのですが、糖尿病の重症化予防対策とされた場合に、受診率を上げるために行政が実施されていることを全くしていないとい</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>うことがあり、最終的に評価すると受診率は変わらない、介入しても変わらないという報告もありました。受診しようと思う人にもある程度特徴があったり、今から行こうと思ったのにいきなり受診勧奨があるとやめようとなったり、人によっていろんな対応の違いがある。行政が受診率を上げるためだけのアピールをしてもだめで、来てほしい人のために思っただけの対応できるかどうかだと思うので、こういったデータが良い方向に向かえばいいなと思いました。</p> <p>食育、健康増進ということで勉強になりました。食べ物や健康がどうなのか、データを踏まえていろいろ分かったことがあり非常に良かったと思います。歯は、播磨町は30歳の検診もあるので、40、50になっても進めていけばいいと思った。他よりも先駆けて、これからもどんどん検診をしていって、入れ歯とかならないように、手間をかけずに自分の歯で噛める、健康が維持できるようになればいいと思います。</p>
委員	<p>初めて参加していますが、健康ということで、8020運動に携わっているのですが、まず歯が丈夫でないと、いくらおいしいものを食べても、しっかり噛めることが大事です。ここでお話しさせていただいて、自分の視野が広がりました。</p> <p>播磨町から健診の案内が来ますが、長い間、国保でなく健康保険だったので、受けられないと言われて、健康保険組合のどこかに行かないといけなくてすごくハードルが上がった。じゃあやめておこうとなり、恥ずかしいですが健診をほとんど受けたことがなかった。何の根拠もなく私は健康だと思っていた。国保と健康保険で違うと思うけれど、そこをうまく連動していけたらいいのではないかと思います。いろんな先生方と話して、食べること、運動が大事だと思い、最後はこころの健康につながると思いました。私はこの前特定健診を初めて受けました。自分の怠慢だったなと今になって反省していますが、うまく連動してこれからも受けていけばいいと思いました。</p>
委員	<p>健康増進、食育とか、個人の生活スタイルに関係する内容なので、多くの方は、おせっかい、そんなこと言われなくていいという立場の人がほとんどです。そういう状態で、播磨町として何が出来るのかというのがスタートしたときの印象だったのですが、播磨町の行政としてできることは、全体としての統計的な数値の取扱いを含め、播磨町全体としてはこういう傾向にありますという分析が出</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>来ている。そこまでしかできないというか、それができたからよかったのかはどちらでも良いのですが、このプランがまとまってよかったと思います。今後、播磨町としてこの計画に沿った何かしらの施策が継続的に出していけるかどうかこれがこれから一番大事です。その時にできることをやっていく。それが大きな流れとしてこのプランに沿っていく。もし年数が経って、いろんな曲がり角が来たらその変化も取り入れて、その時点ではこれが必要という形がわかっているならば、逆行する施策があってもいいと思うし、その場合は改定という形で検討する必要があると思うが、そういう形で進めていければ良いと思います。このプラン作成に関しては非常に意義のあることだと思います。関わらせていただいてありがたかったと思います。</p> <p>行政が何をするのかというと非常に難しいと思います。健康増進するのは個人の問題ですから、個人の勝手だと言われたらそれで終わりになってしまう。健康増進したいと思っている人を助けてあげる環境を作っていくのが行政としてやっていかないといけないことかと思いますが、私も委員なったからこそ勉強しましたが、そういう場があればきっかけになる可能性もあります。そういう受け入れ体制が播磨町としてあればいいなと思いました。せっかくプランを作って頑張っているのだから、6年後、次の改定の時には「健康長寿のまち 播磨町」みたいな看板を上げられるくらいになってほしいなと思います。</p>
委員	<p>こういう計画に参加するのは初めての経験ですが、最初、播磨町がどんなまちになったらいいかという話し合いがありましたが、それがどんな風にこの計画に反映されるのかと思ったときに、こうあったらいいということがちゃんと1枚ものにまとめられていて、話し合いと計画がつながっていて、健康になるためにはどうしたらいいのかということで、個人の努力もそうですが、行政としてどう取り組んでいくかということがとても大事で、個人の努力ではどうしようもない環境の整備は行政がしなければならないし、施策に結びつけていくことも行政だから出来ることなので、できることはこちらが一方的に言うのではなく、住民の方が自らそうだなと思われるところを引き出していくことが大事です。行政の目的は受診率向上だけでなく、皆さんの健康状態が少しでも良くなり、自ら健康になるような計画が続けていけて健康になること。ただ健康は生活の中で一番ではなく、健康だったらいろんなことが出来て自分のしたいことが出来るという基本的なところなので、うまく個人に届くことが</p>



議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>出来たらこの施策もよいものになると思います。自分が播磨町の職員だったらどうするかなといろいろ考えながら参加させてもらいました。</p> <p>参加させていただくのは2回目ですが、食育の小学校5年生のアンケートを見て、すごく考えられていてえらいなと思いました。うちの子が5年生の時は出されたものを食べることしか考えていなかったと思います。現在はメディアとかで食育やいろいろなことを知っていてすごいと思う反面、特定健診の受診が少ないことにびっくりしています。私も2、3日前に行き、無料で受けさせてもらえて、なぜ受けないのかなと思います。なぜ受けないのかという意見も聞いていただき、受けられない原因を一つずつ潰していくことができればいいと思う。プランはよく考えられていてよかったと思います。</p>
委員	<p>商工会から来させていただいて、こんなプランも初めて知って、立派な冊子が出るまで素晴らしい皆さんの意見が聞けて、ここに來ただけでも私にとっては良かったと思います。食育に関しても、全く興味がないわけではなかったのですが、もっと自分が興味を持ってできることをしたら広げていけるのかなと、何かあったら隣の人に話しかけられるようになれたかと思っています。10年先の私の為にもとても良かったです。</p>
委員	<p>後期高齢者の立場から、シニアクラブでも元気で健康で生き生きというキャッチフレーズでやっていますが、なかなか個人の健康は難しい。それから地域のつながりが希薄になっている。隣の人が何しているかわからない。昔なら気づいてくれる人がいて近所付き合いで情報交換があったが、希薄になってくるとわからない。行政ばかり頼ると行政もパンクしてしまうので、地域が考えをもって頑張っていけないといけないと思います。自分の体は自分で守ると意識していかなければ健康づくりも全体にはいかないと思いました。私もいろんな計画の委員会に入りましたが、なかなか自分の思うようにいかない。シニアクラブでも高齢者の中で頑張っていますが、これからも健康づくりのために「笑い」を中心に活動していきたいと思っています。</p>
副会長	<p>播磨町の様子アンケートから見られて、たくさん貴重な意見も聞けて勉強になりました。幼少期からの食習慣が大切で、小、中、</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>高、成人に影響を与えるということをアンケートで感じました。私は播磨町いずみ会ですが、家庭における望ましい食習慣の定着に向けた動きをこれからとっていきたいなと強く感じています。</p> <p>私は三木市にも携わっていますが、この策定委員会の進め方が非常に良かった。最初に皆さんで問題点を出し、データに基づいた調査があり、課題が明確に出ているのが大きいと思います。皆さんも会ごとにいろんな観点からご意見を出されていたので、それが反映でき、播磨町もそれを受け止めてくださり、反映、修正してくださったのでスムーズに進めたのかと思います。ご意見があったように、個人が健康をどう思っているかが大事なので、行政としては方針や施策を出してこういうことが大事。個人がそれをどう受け取るか、どう広報していくかがとても大事と意見もいただいているので、策定はきちっとできているので、それを今度はどう実行するのか、個人個人が健康になるためにつながるのか、広報、環境も含めて個人にいきわたるようにするには、町の役割が大きいと思います。つながりも、行政でもシニアクラブ等いろいろな活動をしている方がいらっしゃるの、個人へ伝えることも限界がありますので、団体への働きかけをして、方針を浸透させていくために、つながりがうまくできると町全体につながると思います。</p>
事務局	<p>最後に事務局を代表して、教育総務課長、健康福祉課長よりご挨拶申し上げます。</p>
教育総務課長	<p>7月から5回にわたる策定委員会で委員の皆様には貴重なご意見、食育の部門も含めましてたくさん頂戴しました。先生はじめ、委員の皆様は厚くお礼申し上げます。先ほどから食育に関して、まだまだ広報が足りていないとご意見を頂戴しましてその通りだと思います。教育総務課で食育を所管することになってから、なかなか体制も含め施策が展開できなかったこともあります。今回皆様の意見を頂戴し、まとめあがった健康プラン、食育推進計画に基づいて今後啓発、普及、広報含めて食育に関する施策を展開できればと思います。委員の皆様にはお世話になりました。</p>
健康福祉課長	<p>5回にわたりたくさんのご意見をいただきました。皆様と一緒にワークショップをしたことが思い出されます。今回初めて計画の基本的な視点やどういったものを目指すかについて、一緒に作っていったと感じています。今回初めての播磨町の地域福祉計画も作って</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
教育総務課係長	<p>おり、昨日最後の策定委員会が終わりました。そことも連動させて皆様がおっしゃっていただいたつながりや自主性、情報の収集力というところも同じく計画の中で大事にするところだと思います。今年は障害者計画もあり、自殺対策も皆様に見ていただいたら良かったと少し後悔しています。冊子で見ていただいたらいいかと思いますが、今後も一緒になってこころの健康もあってこそ、体の健康もあってこそ、地域のつながりがあってこそみんな健康で幸せに生きていけるのではないかと感じています。皆様がおっしゃっていただいたように、これを作ったから終わりになるのが一番ダメなので、これをどこへ出して、どうやって行政が展開していけるか、チェック機能を年に1回でも2回でも設けることで一步前進したかと思うので、また評価、改善してよりよくしていきたいと思います。今回はいろいろとお助けいただいて心よりお礼申し上げます。</p> <p>食育の面で皆様に対してご意見をいただき、現状の課題や困っていることに関して皆様で共有いただき、それぞれの立場で意見をいただけて非常に良かったと思います。全体を通して私が強く思ったのは、行政の立場で考えるべき根幹だと思うのは、健康増進や食育の計画を作ってもあるべき論、こうなければならないという形で押しつけがましいものになってしまうと、個人のQOLがなかなか上がらない。タバコなどもそうですが、不健康でいたい人もいらっしゃるかもしれない。こういう風にいたいというのはそれぞれなので、行政としてはこうあっていただきたいというところは示しますが、最終的な選択は個々の自由なので、そのあたりも保証しながらこういうところを目指して計画を立てている、施策を組んでいるが、それぞれ思いながら生活していただくことも保障しなければならないというところが行政の難しさだと思いました。皆様に対してはこれをきっかけに地域での話し合いの場でこういったもの知っているかとか、話題のきっかけにさせていただけるかと思うので、行政も情報を発信していくので、地域の間、職場でも周知をしていただきながら、播磨町全体で取り組んでいく課題に皆様と向き合っていければいいなと思います。</p>
保健師	<p>私自身もこういう事業、教室の年間の計画を考えている中で、頂いた意見で今ある事業をこうするともっといいかなという具体的なアイデアもたくさんいただけたと思います。この会議だけでなく、今後も貴重な意見があればいつでも声かけを頂けたらと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
保健師	策定委員会を担当するのが初めてで、ドキドキしながら始めました。至らない点多々あったかと思いますが、毎回皆様が集まり意見を聞いたりしていく中で、自分の中で策定委員会にも、健康プランにも親しみ、愛着が沸くプランになりました。せっかく作り上げてきたので、これを今後活かして取り組んでいきたいと思ひます。
事務局	3. 閉会